#### 1.実装するサービスの構想

## 複数のオープンデータを使用した情報サイト

日本語ソースの各国の感染者関連情報を表示するサイトが少ない

- ➢ 各国の感染者数推移をグラフ形式にして出力、及び関連情報を配信するサイトを作成する
- ➤ 実装したAPIを視覚的にわかりやすく表示する

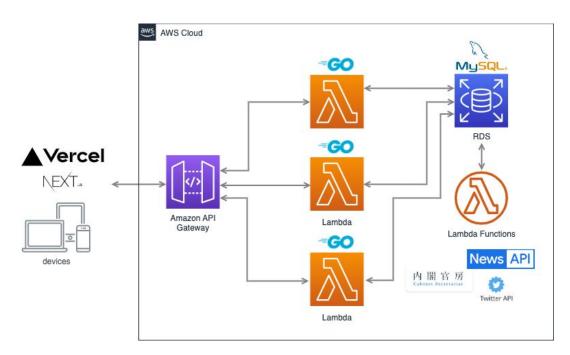


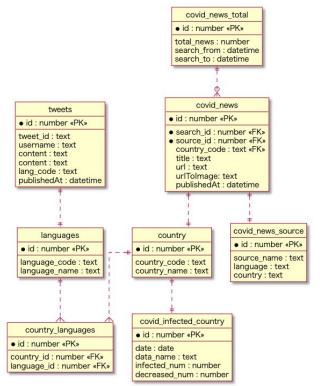
#### 2.サービスの構成

## 構成図

実装したサービスの構成と、ER図を示す

- ➤ 複数のAPIでデータの参照、バッチによりデータの更新を行う
- ➤ 国コードをベースに複数のOpendataを管理する





### 3.実装したサービス

## Lambda関数(バッチ)

オープンデータを取得しRDBを更新するバッチを実装し、定期的なデータの更新を行う

- ➤ 各国感染者数のオープンデータの更新間隔は1週間単位
- ➢ 各APIのリクエスト数の上限を考慮し実行間隔を設定

バッチ概要	実行間隔
各国別感染者数・死亡者数 オープンデータよりデータを取得し DBに追加する https://opendata.corona.go.jp/api/OccurrenceStatusOverseas	毎週火曜日午前1時
Twitter APIより「Covid-19」を含むツイートを取得し DBに追加する https://api.twitter.com/2/tweets/search/recent	1時間
News APIより「Covid-19」をキーワードに含む記事、総数を取得し DBに追加 https://newsapi.org/v2/everything	每週火曜日午前1時

### 3.実装したサービス

# Lambda関数(API)

各テーブルを参照するAPIを実装し、国コードと関連づけそれぞれのデータを返す

- ➤ 国コードはISO 3166-1、言語コードはISO 639-1標準のものを使用
- パラメータにより、期間、国、取得数を柔軟に変更可能

目的	エンドポイント	パラメータ
各国の感染者数を取得	/infected_patients	{from,to,country_code}
各国のニュース記事を取得	/news	{from,to,country_code}
ニュース記事の総数を取得	/news/num	{from,to}
Tweetを取得	/tweets	{from,to,country_code,limit}

### 4.デモンストレーション

